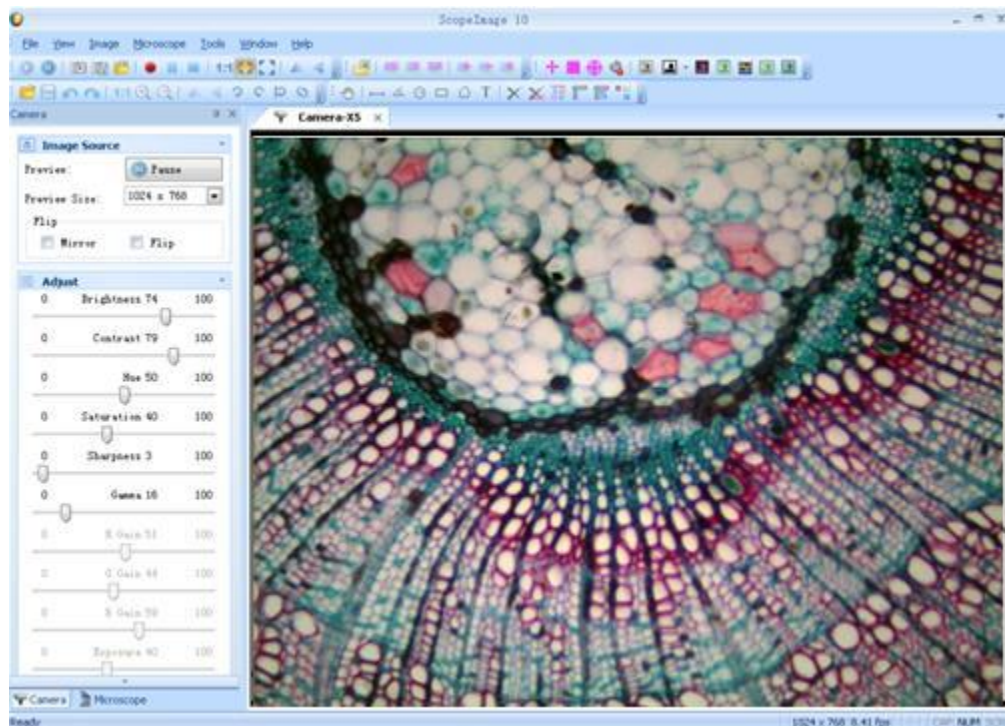


ScopeImage 9.0

Professional imaging software

取扱説明書



目次

1. 概要.....3	6. トラブルシューティング.....27
1-1. ScopeImage9.0 について	6-1. 画像を取り込むことができない
1-2. 最小限のシステム要件	6-2. エラー表示が出る
2. インストールガイド.....5	6-3. 画像が表示されない
2-1. ソフトウェアのインストール	6-4. 静止画を撮影できない
3. ScopeImage 9.0 を使用する.....9	6-5. 映像が真っ黒で何も映らない
3-1. ScopeImage 9.0 を起動する	6-6. Cannot preview successfully. Please check your camera と エラーメッセージが出る
4. ScopeImage 9.0 Windows 画面... 10	6-7. インストール中に注意表示が 出る
4-1. 機能画面	6-8. ビデオを記録できない、または 誤って記録してしまう
4-1-1. メニューバー	6-9. カメラが認識されない
4-1-2. ツールバー	6-10. その他注意点
4-1-3. カメラコントロールパネル	
5. コントロールパネル.....13	
5-1. ビデオモード	
5-1-1. ビデオプレビュー	
5-1-2. 露出	
5-1-3. ホワイトバランス	
5-1-4. ビデオ調整	
5-1-5. 垂直イメージ	
5-1-6. キャプチャー	
・キャプチャー	
・連続キャプチャー	
・ビデオ	
5-1-7. ステッチ機能	
5-2. 画像モード	
5-2-1. 画像処理	
5-2-2. 画像反転	
5-2-3. 画像校正	
5-2-4. 画像測定	
5-2-5. 測定データの処理	

1. 概要

この度は本製品をお買求め頂き、誠にありがとうございます。

ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読みになり、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。本製品はお使いの PC 画面に顕微鏡画像を取り込んで、リアルタイムでライブ映像を表示する USB2.0 のカラーデジタル画像処理システムです。

1-1. ScopeImage9.0 について

高解像度画像処理ソフトウェアは、特にデジタル顕微鏡のために設計されたものです。

操作しやすいインターフェース、安定したパフォーマンスと高機能を有しており、広く教育、研究、検査など、様々な分野で使用出来ます。

特長

ScopeImage9.0 はデジタル顕微鏡用専門に設計された画像処理ソフトウェアです。

このソフトウェアは表示、取込み、編集、記録、ズーム、計測ができ、顕微鏡画像を処理できます。詳細な特長は以下の通りです。

- (1) アクティブイメージ、静止画、ウィンドウに合わせた表示、フルスクリーン等、多様な表示モードでとても容易にアクティブな画像を表示します。
- (2) アクティブイメージの便利な色彩調整（明るさ、コントラスト、彩度、RGB 値、ホワイトバランスなど）はアクティブイメージを表示している間、調整するのにとても便利です。
- (3) 様々な画像計測ツール（長さ、角度、長方形、多方形、円）は動かしたり、削除したり、色をつけたり、テキストを加えることが出来ます。
- (4) 画像反転機能はアクティブイメージの水平反転と垂直反転や取込み画像の 90 度、180 度、270 度またはあらゆる角度の回転を含みます。
- (5) 画像ズーム：拡大、縮小と 1:1 表示での画像を含みます。

ScopeImage9.0 は 2 つの操作モードがあります。

- (1) ビデオモードメニュー：ファイル、表示、ウィンドウ、言語、ヘルプ
- (2) 画像モードメニュー：ファイル、編集、表示、画像、変形、計測、ウィンドウ、言語、ヘルプ；“Alt + メニューの先頭文字”で関連のあるメニューを開くことが出来ます。
- (3) 取扱説明書でビデオモードと画像モードの両方の操作を紹介します。

1-2. 最小限のシステム要件

システム要件

OS : Window 7,8,10 (32/64bit)

- 24 ビットカラー以上、および 1280×1024 または 1024×768 の解像度をサポートするビデオアダプタ
- 2.0GHz 以上を有する CPU
- 256MB 以上のシステム・メモリ、128MB 以上のディスプレイ・メモリ
- USB2.0 インターフェース
- ハードディスクの空き容量：インストール用に 1 GB + 取込み画像用の追加スペース

ビデオ処理がハードウェアに集中するため、メモリに余裕がない場合、処理が遅くなることがあります。

2. インストールガイド

準備：

1. PCへUSBケーブルを繋ぎ、顕微鏡のUSBインターフェースへもう一方の端へ繋げてください。
2. 顕微鏡の電源を入れてください。
3. ハードウェアとソフトウェアが正しくインストールされているのか確認してください。
4. デスクトップのアイコンかスタートメニューで「ScopeImage9.0」を起動して下さい。

※注意※

ScopeImage9.0ソフトを起動させるまでは、カメラに光を入れないようにしてください。ソフトを起動させる前にカメラに光を入れますと、ICの保護機能が働き、映像を写さず、画面が真っ黒になることがあります。

2-1. ソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストールの前に、顕微鏡を PC に接続してください。

(接続方法は前述の「準備」の項目をご参照ください。)

- ① 付属のソフトウェアをPCのドライブにセットすると下の画面が出てきます。

※注意※

下の画面が表示されない場合はマイコンピュータからCD-ROMを開いてください。

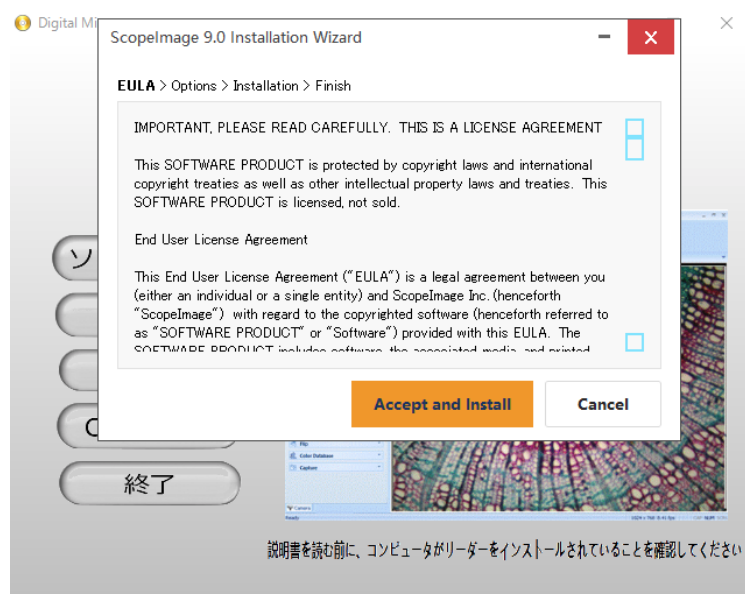
- ② 日本語を選択してください。(他言語も選択可能ですが、本取扱説明書の写真表記とは異なります)



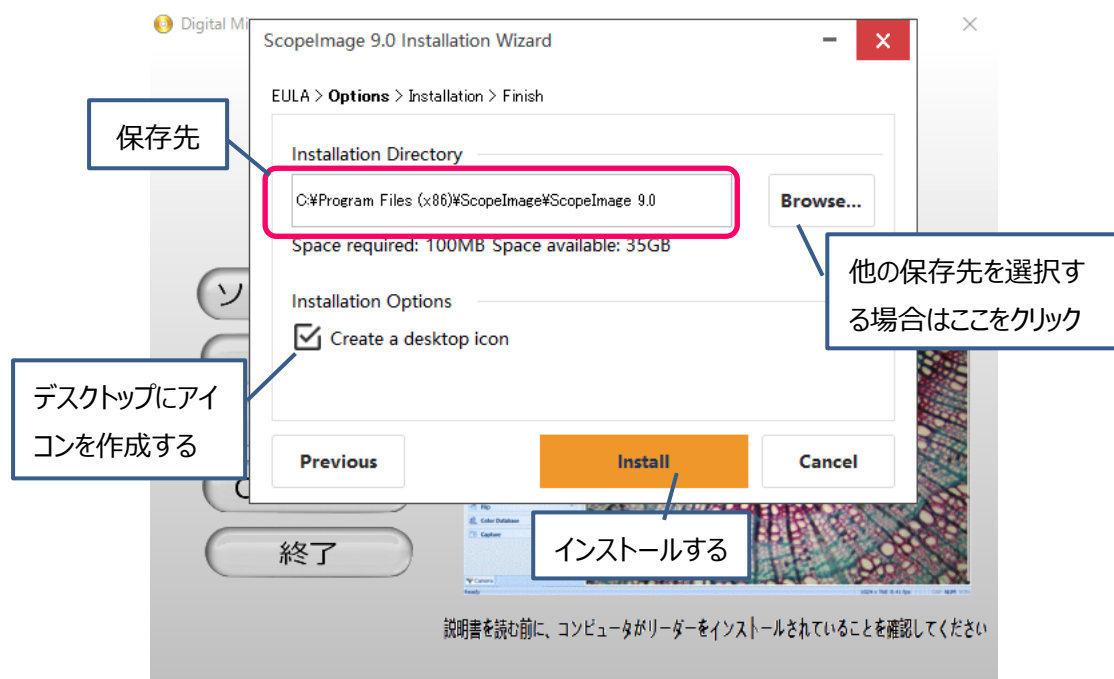
- ③ ソフトウェアを選択してください。



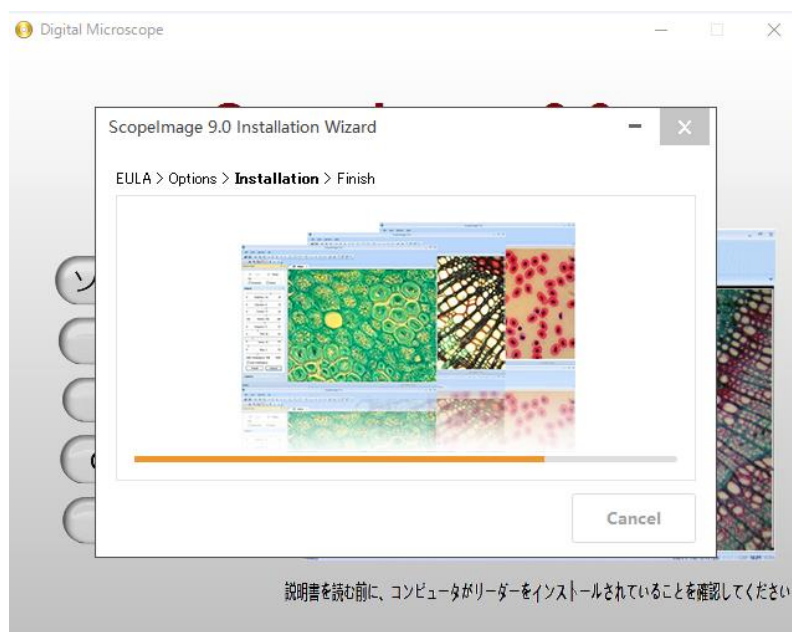
- ④ 英語のポップアップが表示され、ライセンスへの同意が求められます。ボタン「Accept and Install」をクリックし、次に進んでください。



- ⑤ 続いて、ソフトウェアの保存場所を指定します。デフォルトの保存先で問題ない場合は何も変更せず、デフォルトとは別の場所に保存したい場合はボタン「Browse…」を押し、任意の場所を選択してください。デスクトップに本ソフトウェアのアイコンを表示させたい方は、「Create a desktop icon」のボックスにチェックを入れてください（チェック推奨）。
- 選択し終わったら、ボタン「Install」を押します。



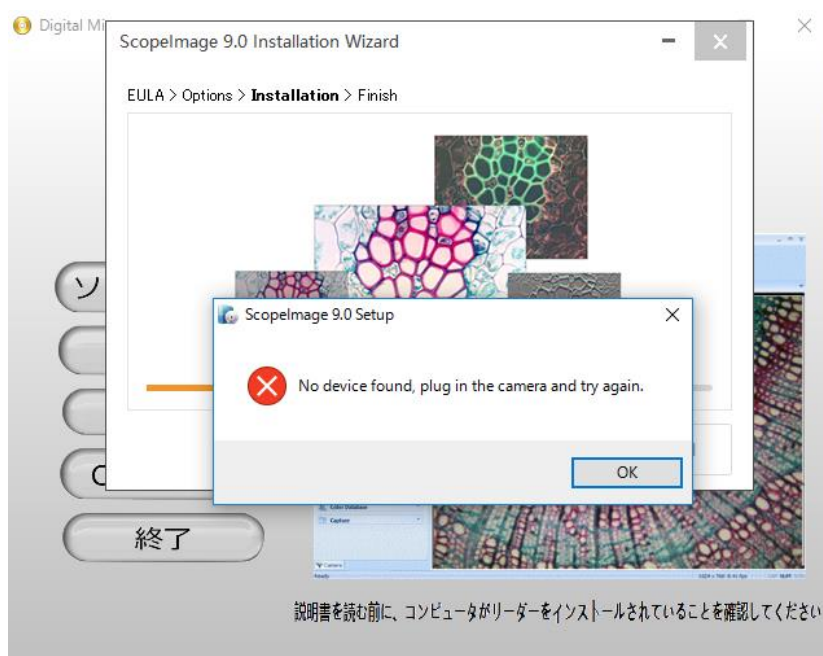
- ⑥ インストールが開始します。



<インストール失敗の場合>

顕微鏡が PC に正しく接続されていないと、インストールできません。

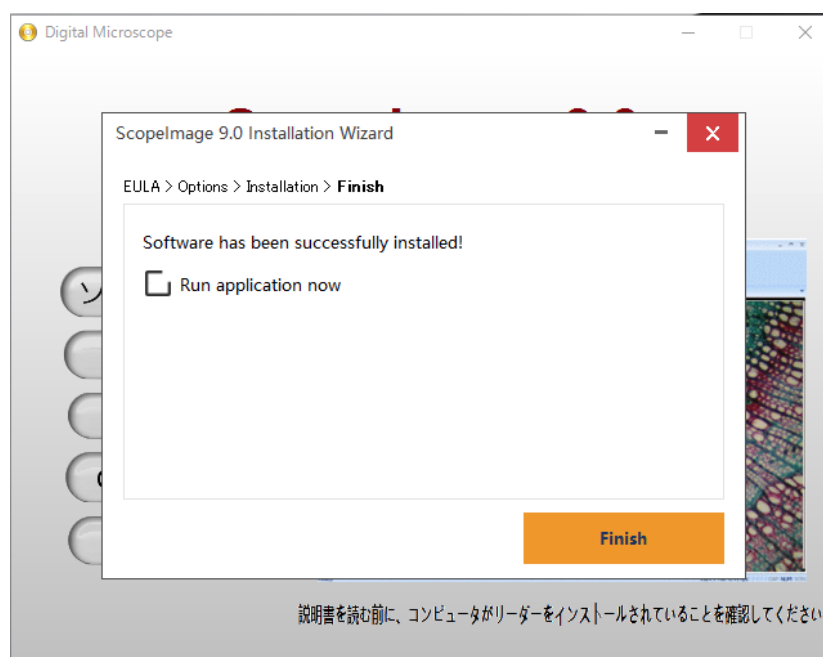
PC に顕微鏡が正常に接続されているか確認し、もう一度前述の手順を行ってインストールをしてください。



<インストール成功の場合>

インストールに成功すると、完了を示すメッセージが表示されます。

チェックボタン「Run application now」にチェックを入れ、ボタン「Finish」を押すと自動的にアプリケーションが起動します。



3.ScopeImage 9.0を使用する

3-1. ScopeImage 9.0を起動する

インストールの過程において、デスクトップに置いたアイコンをダブルクリックします。

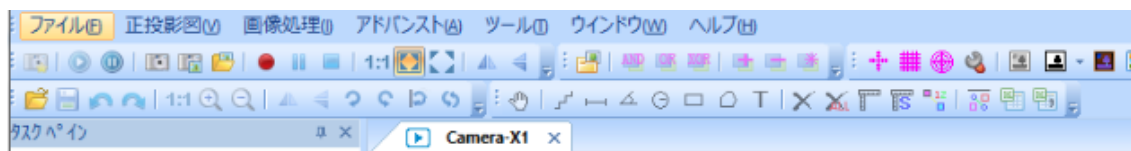
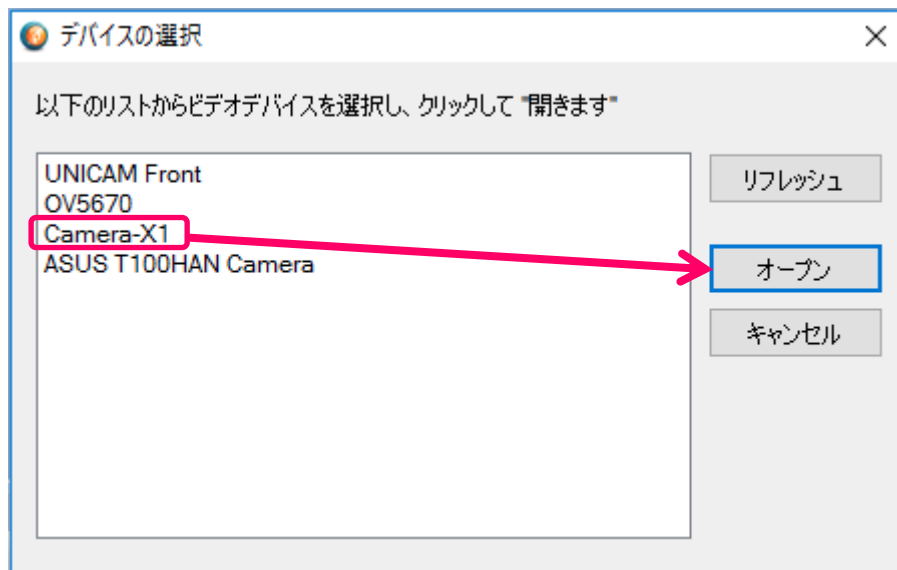


3-2. カメラを開く

デバイスを選択します。「Camera-XX」をクリックして選択し、ボタン「オープン」を押してください。

※「Camera-XX」の「XX」の部分は、機種によって異なります。

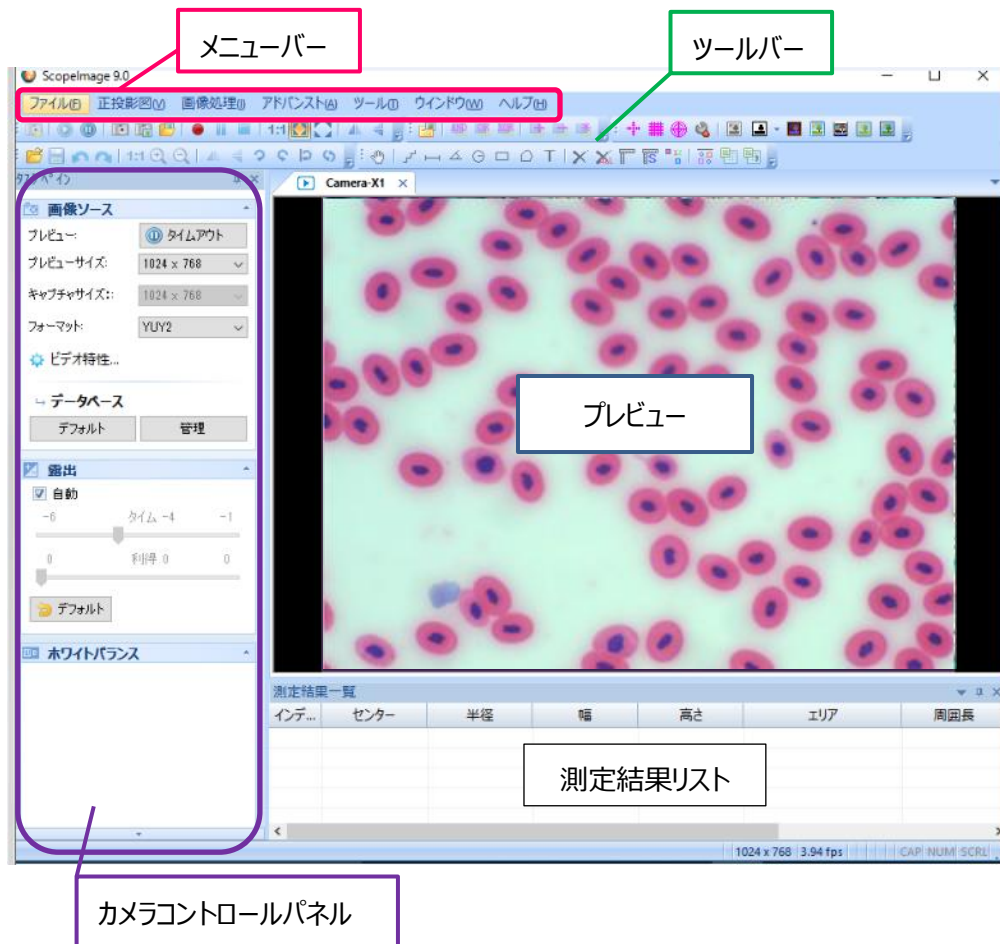
※当ソフトウェアは、複数の製品で共通のため、他機種を使用したことがある場合はデバイス一覧に表示されます。




デバイス名は、ソフトウェアの画面上のタブ名と一致します。

4 ScopeImage 9.0 Windows 画面

4-1. 機能画面



4-1-1. メニューバー

メニューバーは、左端の  をダブルクリックしたり、クリックしたままカーソルを移動させて離すことで、上部に固定したり、独立させることができます。

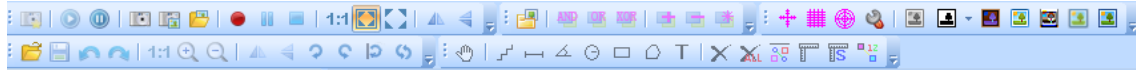
4-1-2. ツールバー

当ソフトには5つのツールバーがあり、自由に表示/非表示にできます。

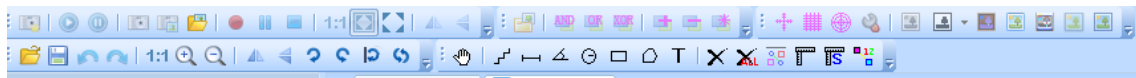
表示詳細設定は、ツールバー右端のをクリックすることで細かく指定できます。

また、ツールバーはメニューバーと同様に、固定/独立させることができます。

ビデオモードツールバー：



画像モードツールバー：



【ビデオモード アイコン一覧】

アイコン	説明	アイコン	説明
	新規作成（新プレビューウィンドウの作成）		水平反転
	プレビュー（ビデオ画像モード）		マスクする画像を読み込む
	タイムアウト（静止画像モード）		ビデオに定規を表示
	現在のカメラ設定でキャプチャー		ビデオに方眼を表示
	フィールドへのフレームの取り込み		ビデオに円マーカを表示
	画像フォルダを開く		マーカセッティング
	録画開始		グレースケール表示
	録画中断		バイナリ表示
	録画停止		色反転表示
	実画素プレビュー		シャープネス
	画面サイズにプレビュー画面を合わせる		エンボス加工をする
	全画面表示		ノイズ除去
	垂直反転		均値化

【画像モード アイコン一覧】

アイコン	説明	アイコン	説明
	全画面表示		垂直反転
	画像フォルダを開く		90°回転
	キャプチャー画像を保存する		270°回転
	戻る		180°回転
	やり直す		任意の角度で回転
	実画素プレビュー		移動
	拡大		直線距離を測定
	複数点距離の測定		縮小
	角度を測定		水平反転
	円内の半径と面積を測定		長方形内の面積を測定
	1つ消去		多角形の面積を測定
	全消去		テキスト注釈
	校正		校正定規
	測定設定		測定データ生成
	エクセル(.xls)に抽出		CSVファイルに抽出

4-1-3. カメラコントロールパネル

カメラのコントロールを行うためのパネルです。パネルはウィンドウに固定したり、独立させることができます。カーソルをあててクリックしながら移動させるか、キャプション部分をダブルクリックすることで固定／独立の切り替えが行えます。



キャプション部分の右端にある三角マーク（▼▲）を押すことで、縮小／展開することが可能です。

項目が多くてパネルに表示しきれていない部分は、パネル下部の矢印を押すことによってスクロールでき、確認することができます。

「拡大図」

カメラコントロールパネルは閉じたり、表示／非表示することができます。


パネルを閉じる際は、パネル上部右端の×マークを押します。パネルの表示／非表示を切り替える際は、閉じるマークの隣のピンのマークを押します。

	パネル表示（展開状態）		パネル非表示（縮小状態）
---	-------------	---	--------------

5. コントロールパネル


5-1. ビデオモード

5-1-1. ビデオプレビュー


<p>パネル画像</p>	
<p>機能説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆プレビュー： 動画／静止画の切り替え ◆プレビューサイズ： 解像度を変更 ◆キャプチャサイズ： ビデオモードでは選択できません。 ◆ビデオ特性： 色を調整 ◆データベース： 「デフォルト」をクリックで、初期設定の色に戻します。「管理」をクリックすることで、ポップアップが開き、保存したカラーデータを適用したり、データベースにカラーデータを保存することができます。

<p>基本情報</p>	<p>【動画モードと静止画モード】</p> <p>動画モードの場合、「プレビュー」に⏮が選択されています。このモードでは、顕微鏡の動きに合わせて画面の画像も動きます。画面に表示されている部分を細かく観察したい場合は、⏮を押すと⏭に切り替わり、タイムアウトの状態になります。もう一度動画モードにしたい場合は、⏭を押して⏮に表示が切り替わると動画モードが再開します。</p> <p>【プレビューサイズ】</p> <p>プレビューサイズでの選択にあわせ、画像の解像度が変更します。プレビューサイズが小さいと、ビデオのタイムラグが少なくなります。</p>
--------------------	---

5-1-2. 露出

<p>パネル画像</p>	
<p>機能説明</p>	<p>◆オート露出： チェックボックス「自動」にチェックを入れると、自動的に露出を調整します。もう一度クリックしチェックを外すと、手動で露出を調整できます。</p> <p>◆デフォルト： 設定を最初の状態に戻します。</p>
<p>基本情報</p>	<p>◆初期状態で「自動」にチェックが入っています。</p> <p>◆偏光顕微鏡を使用する場合、自動露出のモードを解除し、手動を選択すると良い効果を得られます。</p>

5-1-3. ホワイトバランス

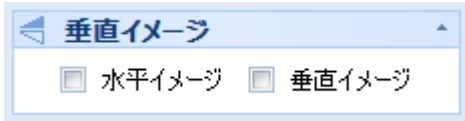
<p>パネル画像</p>	
<p>機能説明</p>	<p>◆オート： チェックボックス「自動」にチェックを入れると、自動でホワイトバランスを調整します。</p> <p>◆デフォルト： デフォルトボタンを押すことで、最初の設定に戻すことができます。</p>

5-1-4. ビデオ調整

<p>パネル画像</p>	
--------------	--

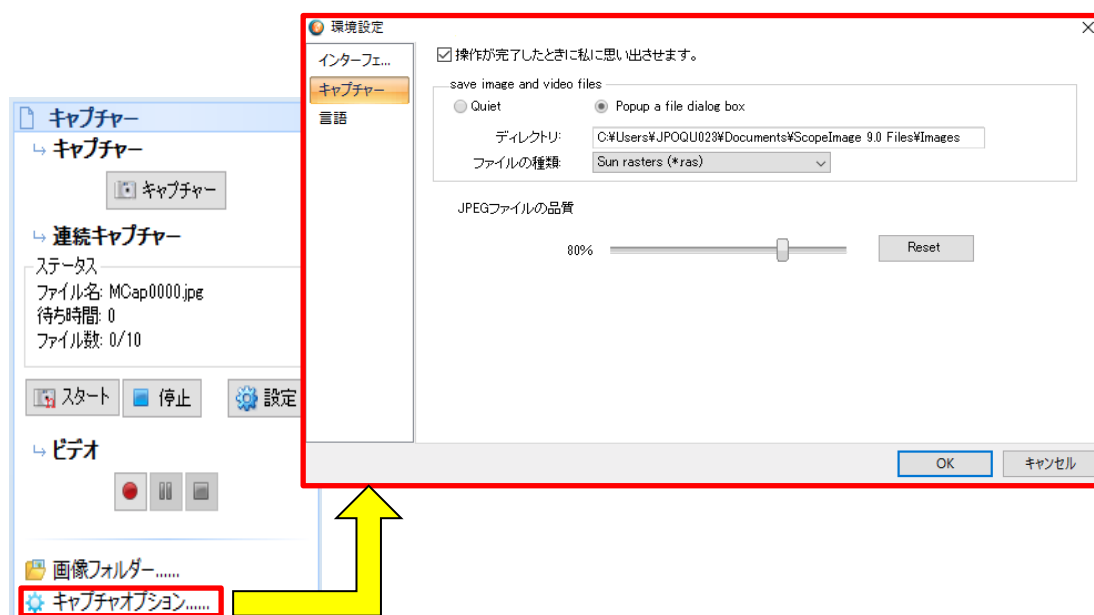
機能説明	<p>◆光度： 明るさを調整します。</p> <p>◆コントラスト： コントラストを調整します。</p> <p>◆フエ： 色相を調整します。</p> <p>◆彩度： 彩度を調整します。彩度とは、色の純度と明るさの測定値のことをさします。</p> <p>◆鮮明度： 鮮明度を調整します。</p> <p>◆ガンマ値： ガンマ値を調整します。ガンマは、明るい部分は変えずに、暗い部分を明るくすることによって画像をハッキリと見せる画質向上機能のことです。</p> <p>◆デフォルト： 最初の設定値に戻します。</p>
------	---

5-1-5. 垂直イメージ

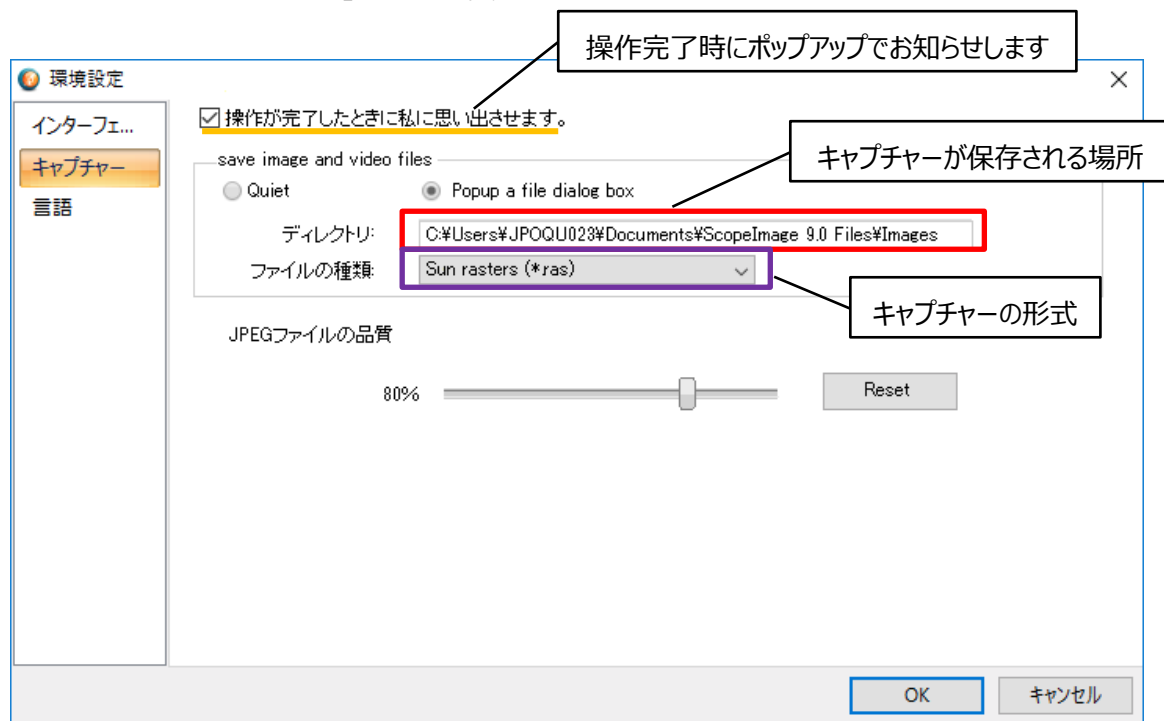
パネル画像	
機能説明	<p>画像を反転させる機能です。</p> <p>◆水平イメージ： チェックを入れると、水平に反転します。</p> <p>◆垂直イメージ： チェックを入れると、垂直に反転します。</p>

5-1-6. キャプチャー

1. キャプチャー



「キャプチャー」ボタンを押下すると、表示されている画面のキャプチャーを撮影し、保存することができます。キャプチャーの保存先／ファイルの形式（拡張子）は、「キャプチャーオプション」ボタンを押し、別窓で開く環境設定画面の「キャプチャー」から確認・変更できます。



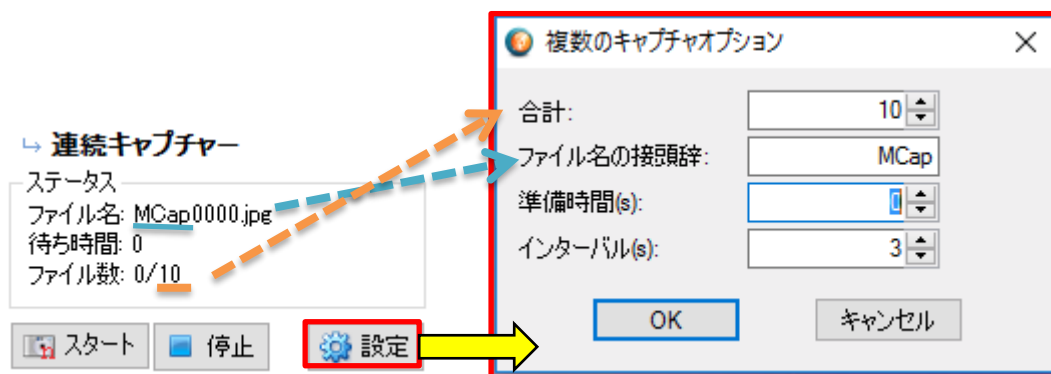
【ラジオボタンの説明】

◆「Quiet」……「キャプチャー」ボタンを押したときに、環境設定画面に表示されている「ディレクトリ」の場所、「ファイルの種類」の形式に自動的に保存されます。

この画面でキャプチャーの保存先と形式（bmp,jpg,jp2,png,pbm,ras,tif）を変更できます。

◆「Popup a title dialog box」……「キャプチャー」ボタンを押したときに、キャプチャーの保存先と形式を尋ねる画面を毎回表示するように設定できます。毎回保存先と形式を確認しながら保存したい方や、保存先や形式が毎回違う方はこちらを選択すると便利です。

2. 連続キャプチャー



連写でキャプチャーを撮りたい場合は、連続キャプチャーの「スタート」ボタンを押します。「中止」を押すと、連写を中断することができます。連写の細かな設定は、「設定」ボタンを押すと出てくるポップアップの画面で変更できます。

【連写の設定項目の説明】

◆合計： 連写の枚数を設定します。

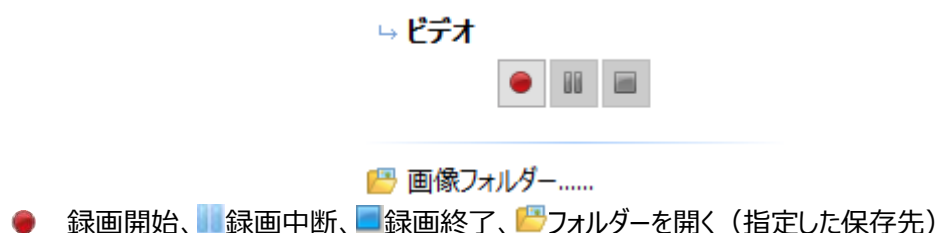
◆ファイル名の接頭辞： キャプチャーを自動保存する際に、ファイル名を設定することができます。

※接頭語は変更可能ですが、接尾語は変更出来ません。接尾語は取込み時に自動的に増えます。保存フォルダを変えた場合は、接尾語は0に変わり、0から増えていきます。

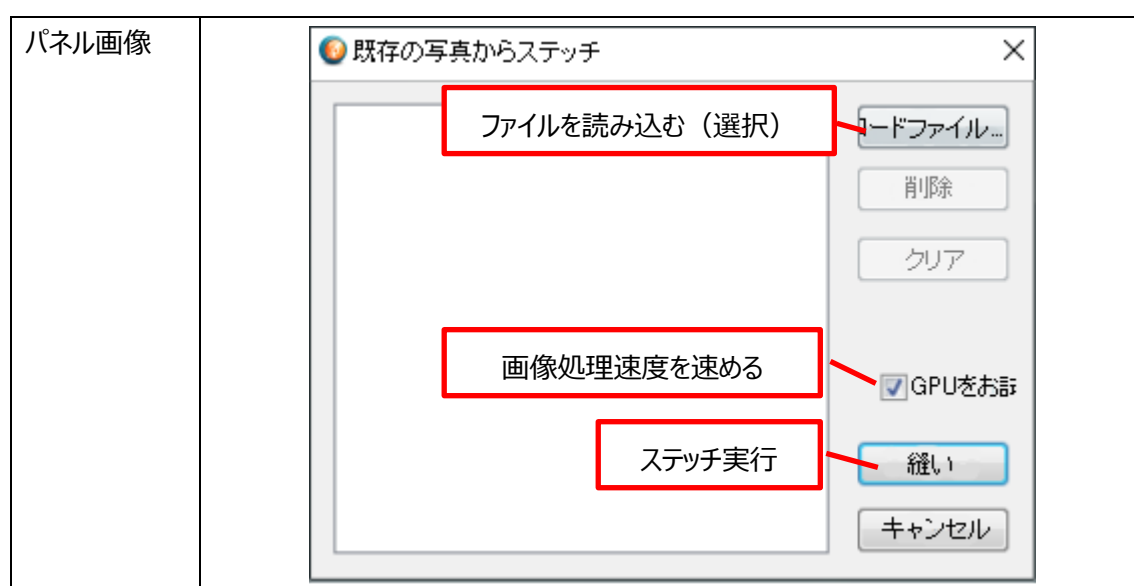
◆準備時間(s)： 画像の取り込み時間の間隔を秒単位で設定します。

◆インターバル(s)： 取り込み開始までの時間を秒単位で設定します。

3. ビデオ

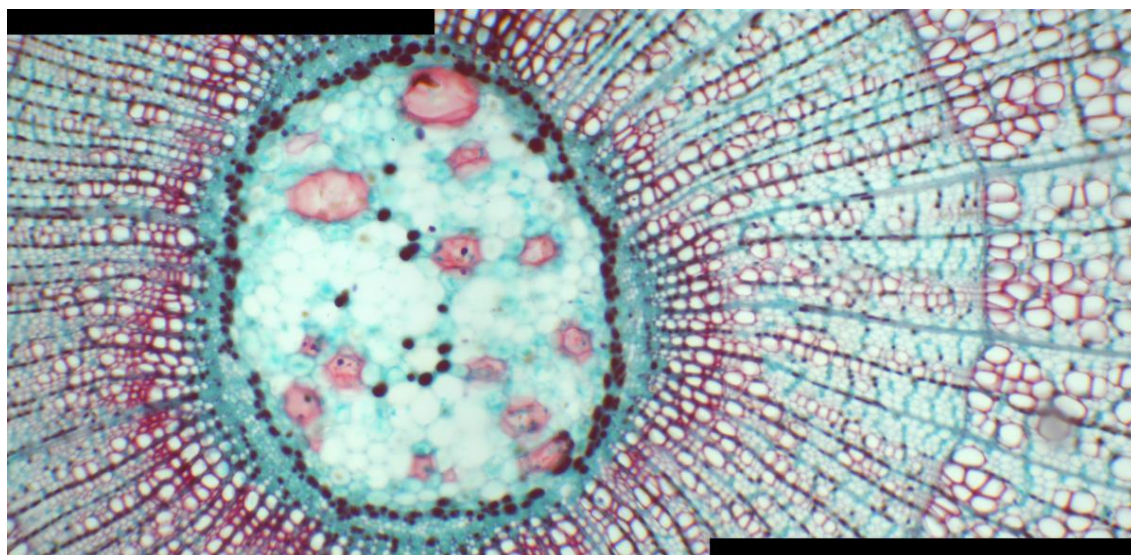


5-1-7. ステッチ機能



機能説明	<p>◆画像と画像を繋ぎ合わせる機能です。</p> <p>◆メニューバーの「アドバンス(A)」から「縫い…」(ステッチ実行ボタン)を選択し、「既存の写真からステッチ」の画面を展開します。「ロードファイル」のボタンを押し、キャプチャーを選択して、「縫い」(ステッチ実行ボタン)を押します。しばらくしてから、ステッチされたキャプチャーが新しいウィンドウで表示されます。</p> <p>◆チェックボックス「GPUをお試し」をONにすると、PCのグラフィックカードを使用して、画像処理を高速化することができます。</p>
その他	<p>各画像範囲は、ウィンドウの大きさの 75%を超えてはならず、隣接する画像の間には 25%以上の重複領域がなくてはなりません。</p>

【例：繋ぎ合わせた図】



5-2. 画像モード

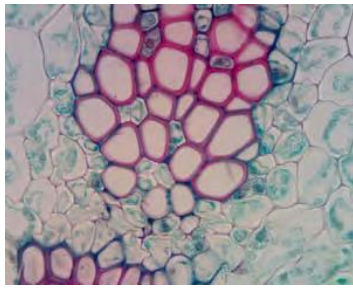
5-2-1. 画像処理

メニューバー → 「画像処理(I)」

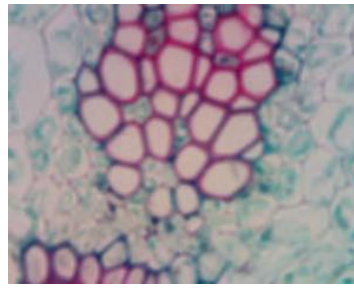


注意：キャプチャー完了した画像にのみ処理が行えます。

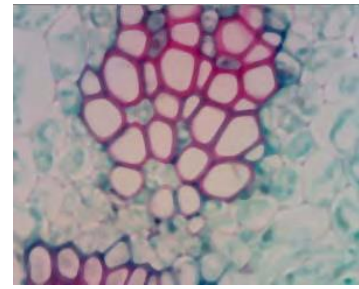
項目名	説明
負	色反転、プラスイメージをマイナスイメージに変えたり、マイナスイメージをプラスに戻したり出来ます。
均値化	画像に平均フィルターを掛けると、画像ノイズをクリアにします。
中値化	画像に中間値フィルターを掛けると、平均フィルターを掛けたときよりもシャープなエッジが残せます。
鮮明	たいていの写真は少しぼやけたり、細部が際立ちません。鮮明化することで写真に写る対象物のエッジをはっきりさせます。
浮き出し	エンボスフィルターは選んだ箇所の色を抑えたり、エッジを黒でなぞることで、対象物を浮き出したり、刻印したようにします。
光度	画像の輝度を変えます。
コントラスト	画像のコントラストを変えます。
彩度	画像の彩度を変えます。



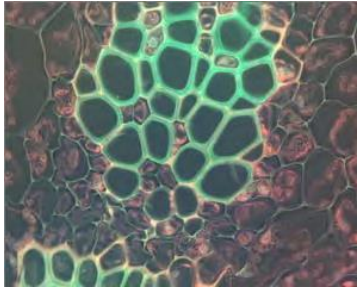
オリジナル



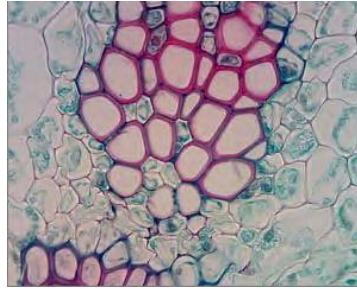
均値化(Average)



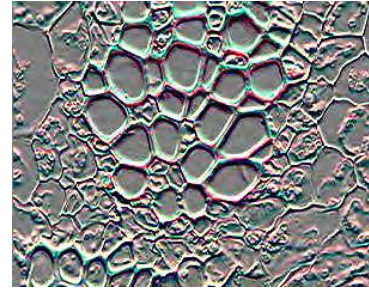
中値化(Median)



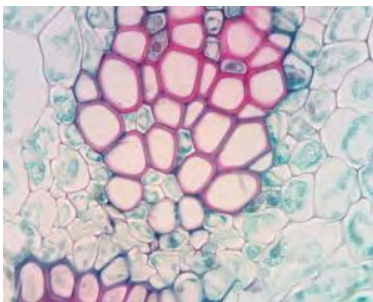
負(Invert)



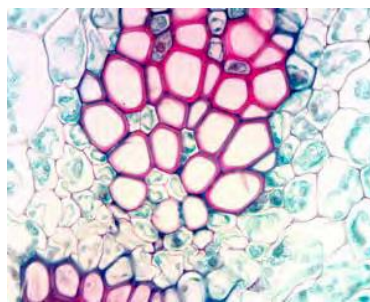
鮮明(sharpen)



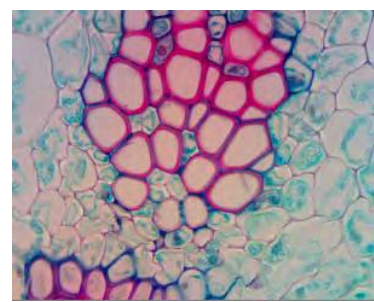
浮き出し(Emboss)



光度(Brightness)












コントラスト(Contrast)



彩度(Saturation)


5-2-2. 画像反転

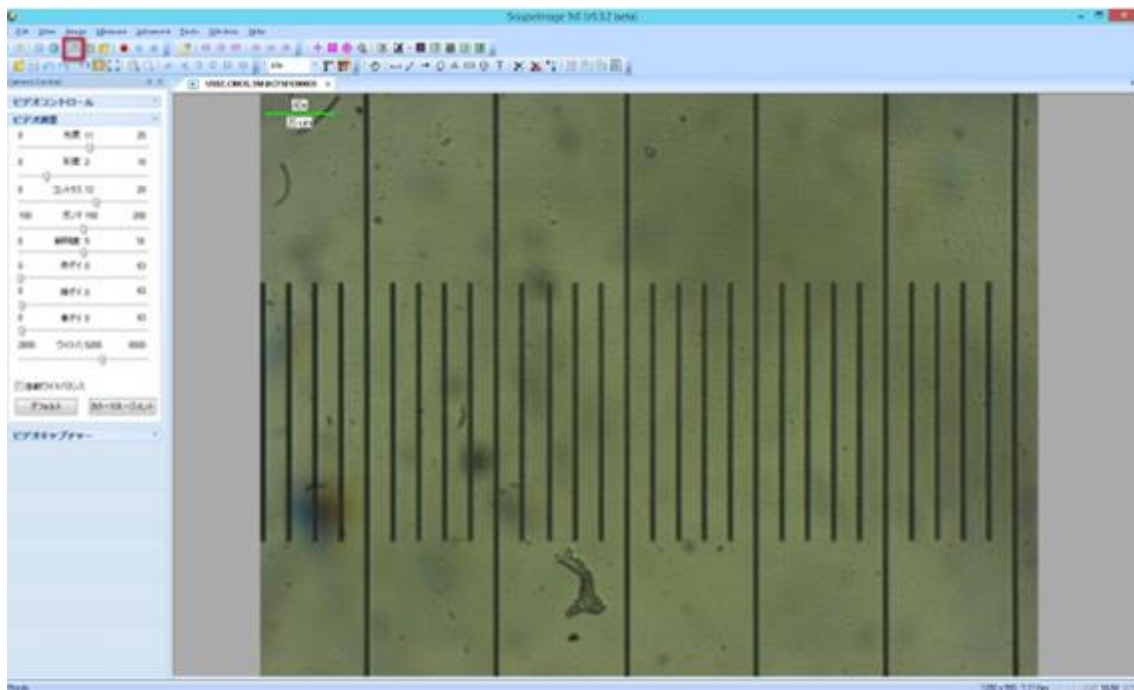
メニューバー → 「変更(S)」





アイコン	名称	説明
	水平イメージ(M)	画像を水平反転します。
	垂直イメージ(F)	画像を垂直反転します。
	回転 90 度	画像を 90°右回転します。
	回転 180 度	画像を 180°右回転します。
	回転 270 度	画像を 270°右回転します。
	任意角度(A)	任意の角度に画像を回転します。
	拡大	画像を拡大します。
	縮小	画像を縮小します。
	1 : 1	画像を 100%で表示します。

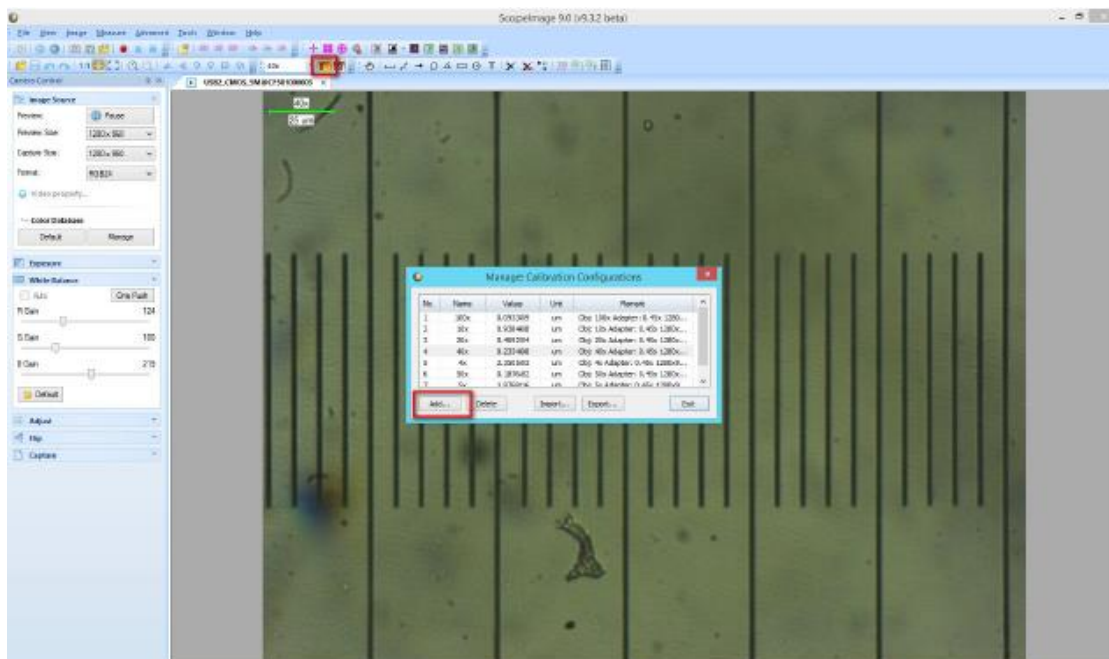
5-2-3. 画像校正


より正確な結果を出すために、画像校正は静止画画像で行います。校正データは撮影時の解像度でのみ使用できます。本項では例として 40 倍対物レンズで手順をご説明します。

1. 校正は静止画しかできないため、最初に写真（キャプション）を撮ります。ビデオウィンドウに 0.01mm のマイクロスケールを置き、スケールのラインが水平、垂直になるようにビデオ画像の位置を調整してください。調整後、ツールバー上の  ボタンを押して、フィールド内に画像を取り込んでください。



2.  アイコンをクリックして、校正設定ウィンドウを表示し、「追加（add）」ボタンをクリックしてスケールを追加します。なお、画像フィールド内では、 ボタンをクリックするとスケールが動かせます。 や  ボタンで現在の画像を拡大したり、縮小したりできます。



3.  アイコンをクリックして、校正スケールをスケールの始点と終点に合わせます。「追加」ボタンを押した後に出てくる詳細設定ウィンドウ内の、名前などの項目を埋めてください。「OK」ボタンを押し、反映させます。





※ここでは例として「11」という名称で設定をしています。











5-2-4. 画像測定

このシステムは、長さ、円、長方形、多角形、角度といった、いくつかの測定ツールがあります。測定結果はすぐに画像上に表示され、画像に数値を表示したまま保存して、今後使用することが出来ます。

この機能は、画像測り(Measure)にあるものです。



アイコン	機能	機能説明
	移動	長さ、角度、円、長方形といった測定対象物を動かしたり調整したりします。引いた線の両端にあるハンドルで線の長さを変えることができます。線の長さは画面上に表示されます。
	長さ	直線距離を測定します。 線は両端になるポイントで形成されます。マウスの左ボタンで1つの点を決めてください。マウスの左ボタンを押したままマウスをもう片方の点となる場所へ動かすと線が引けます。マウスの左ボタンを離すと線が決定されます。 上の動作を繰り返すと、複数の線を引くことができます。
	角度	角度を測定します。 クリックで3点のコントロールする点を決めます。1点目から2点目、2点目から3点目を通る線で形成される角度が測定されます。角度は画面上に表示されます。
	円	円内の半径と面積を測定します。 円の中心から、測定したい大きさまでドラッグすると、円が描けます。1つ目の点と2つ目の点の間の線は半径を示します。上の動作を繰り返すと、複数の円が描けます。 円の四隅のどこかをクリックしながらカーソルを動かすと、サイズが変更できます。円の移動は、円上のいずれかの場所をクリックしたままカーソルを動かします。円の面積と半径は画面上に表示されます。

	長方形	<p>長方形内の面積を測定します。</p> <p>長方形は対角線上の 2 つの頂点で形成されます。1 つ目の頂点から 2 つ目の頂点へマウスをドラッグすると、長方形が描けます。</p> <p>上の動作を繰り返すと、複数の長方形が描けます。長方形は、4 つのサイズ変更ハンドルがあります。4 点のハンドルをドラッグすると、縦横幅が調整されます。長方形の中でドラッグすると、長方形を動かすことができます。</p> <p>長方形の面積は、画像上に表示されます。</p>
	多角形	<p>多角形コマンドは多角形の面積を測定します。</p> <p>クリックで多角形の頂点を決定します。最後の頂点を決めたら、マウスの左ボタンをダブルクリックすると、測定範囲が決定します。</p>
	テキスト注釈	<p>テキスト注釈コマンドは、テキストを画像に追加するのに使用します。マウスの左ボタンでテキストを置く場所を決定します。入力パッドに文字を入力し、OKを押すと反映されます。注意：注釈は削除だけで、動かすことはできません。</p>
	1 つ消去	選んだ対象物の 1 つを消すのに使用します。
	全消去	画像上の全ての対象物を消去するのに使用します。
	校正	<p>システムマイクロメーターは水平面と縦方向で標本抽出間隔から成ります。校正プロセスで、2 回の標本抽出間隔の両方を計算してください。</p> <p>【注意】測定前の画像で校正してください。</p>
	校正定規	<p>このボタンをクリックすると、校正定規を表示します。</p> <p>再クリックで隠します。</p>
	測定設定	<p>座標点、ライン、調整、文字の色を設定します。</p> 
	測定データ生成	このコマンドは、背景画像をクリアにして、測定マーカーだけの画像を生成します。

5-2-5. 測定データの処理

測定データはテーブルに登録することができます。

Measurement results list								
Index	Center	Radius	Width	Height	Area	Perimeter	Length	
1	(169, 84)						10.385 um	
2	(360, 163)						1.720 um	
3	(217, 196)						16.201 um	

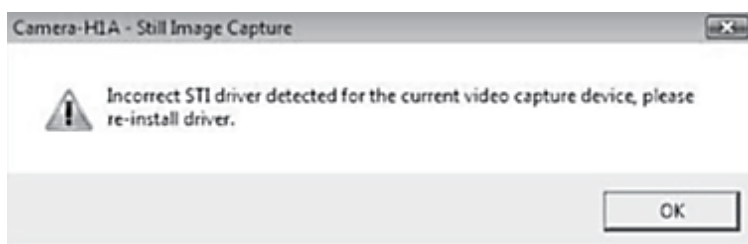
ウィンドウ上部右側の▼を押すと、エクセル（.xls）か CSV ファイルを作成することができます。

ピンアイコンを押すと、測定結果リストを隠すことができます。

×のアイコンを押すと測定結果リストを消すことができます。

6. トラブルシューティング

6-1. 画像を取り込むことができない



上記のようなエラー・ダイアログが現れた場合、たいていは、USB デバイスの競合にあります。ハードウェアとソフトウェアをアンインストールして、再度インストールし直してください。それでもエラーが存在する場合は、試しに別の USB2.0 ポートに接続して、再度インストールし直してみてください

6-2. エラー表示が出る

お使いのコンピュータに複数の USB デバイスが繋がっている場合、何らかのエラーが発生する場合があります。そのようなエラーには、USB の帯域幅が不完全である、USB の電力供給が不十分である等が含まれます。現在使用していない USB デバイスのプラグを抜いて、お使いのコンピュータを再起動してください。場合によっては、お使いのデバイスをアンインストールして、ドライバをインストールし直す必要があります。

6-3. 画像が表示されない

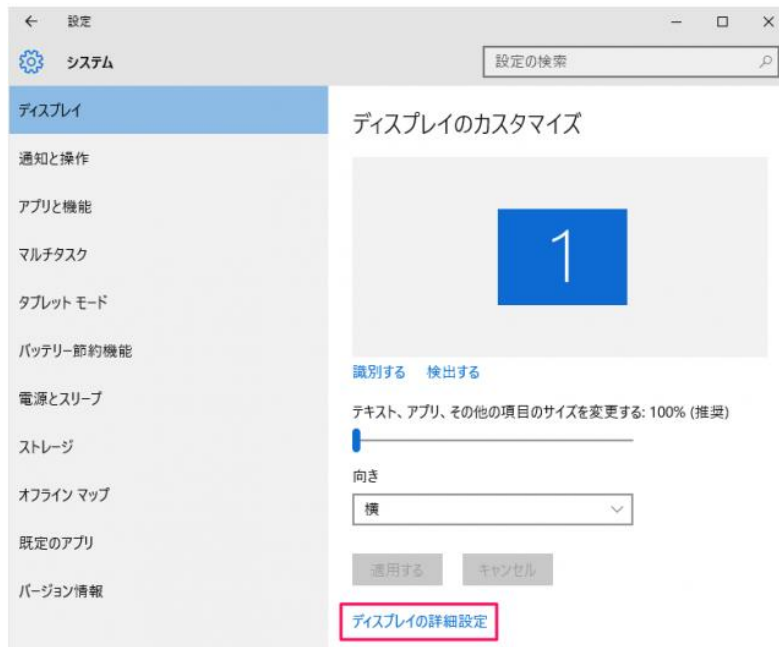
これはコンピュータ・ディスプレイの解像度が画面の解像度と一致していないために起こります。従って、画像モーフィングを防ぐには、画面の解像度を設定し直してください。以下の通りに行ってください：

【Win7 をご使用の方】

- ①デスクトップ上で右クリックし、「画面の解像度（C）」を押してください。
- ②画面の解像度がお使いのモニター画面と適合しているかご確認ください。適合していなければ、変更してください。

【Win10 をご使用の方】

- ①スタートメニューの「設定」をクリックし、表示されたウィンドウ内の「システム」をクリックしてください。
- ②「ディスプレイのカスタマイズ」が表示されるので、下のほうにある「ディスプレイの詳細設定」を押します。



③接続しているディスプレイが表示されます。複数のディスプレイを接続している場合は「1」「2」……と複数のディスプレイが表示されます。解像度を変更するディスプレイを選択してください。



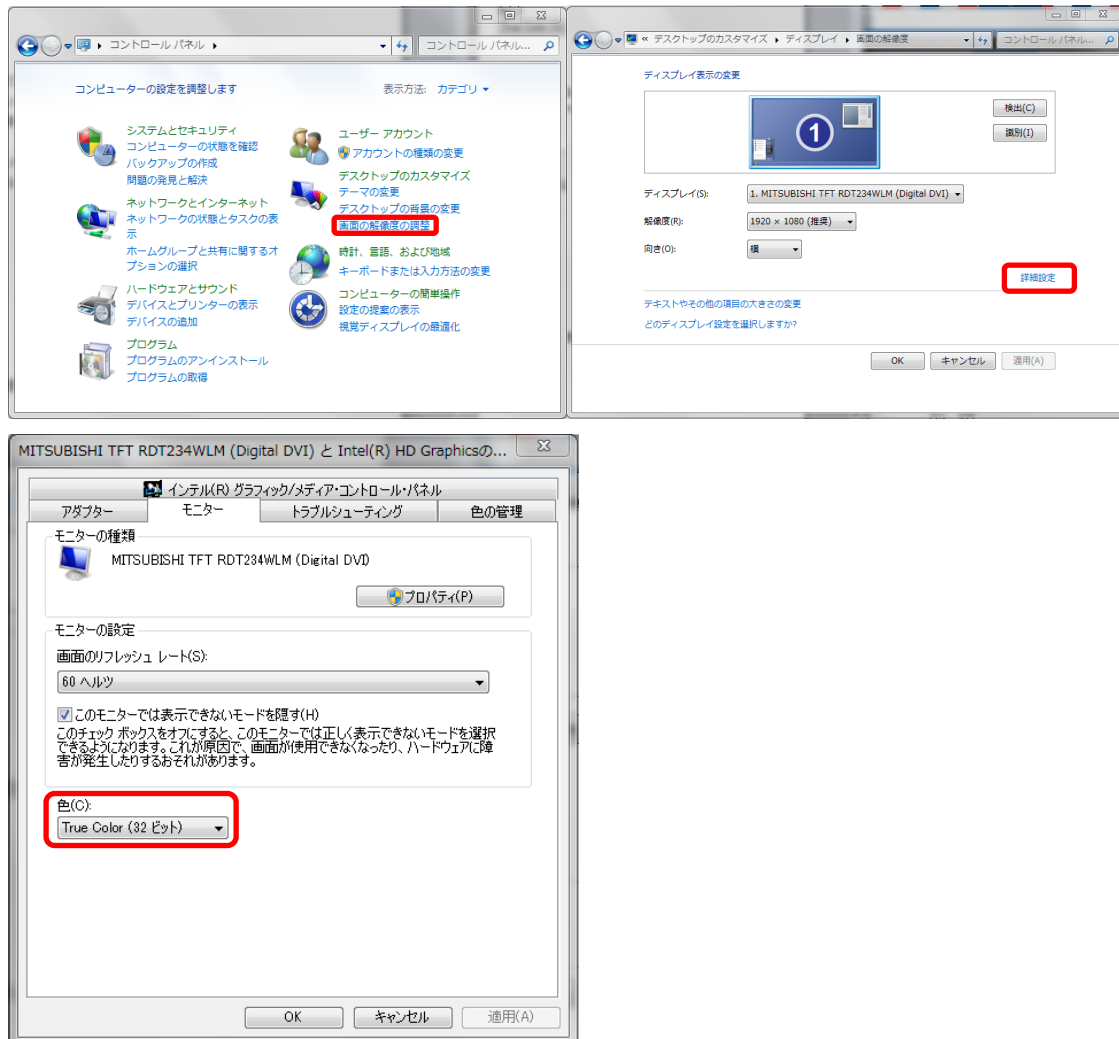
④画面の解像度がお使いのモニター画面と適合しているかご確認ください。適合していなければ、変更してください。

※毎回同じ USB2.0 ポートをお使いください。違う USB2.0 ポートで使用すると、カメラを作動するために、ドライバを再インストールするよう求められる場合があります。

6-4. 静止画を撮影できない

①画面のプロパティを 32 ビットにしてください。

「スタート」ボタン⇒「コントロール パネル」⇒「画面の解像度の調整」⇒「詳細設定」⇒項目「色(C):」を「True Color(32 ビット)」を選択⇒「適用」をクリック⇒「OK」をクリック



※Win 8,10 の場合、表示色は変更できません。初期設定で「True Color(32bit)」に設定されています。

②競合の USB デバイスを外し、パソコンを再起動します。

③ScopeImage9.0 をアンインストールし、再度インストールし直します。

6-5. 映像が真っ黒で何も映らない

- ①顕微鏡に光路切替レバーがありましたら、光がカメラに入るようにしてください。
- ②ScopeImage9.0 ソフトを起動させるまでは、カメラに光を入れないようにしてください。ソフトを起動させる前にカメラに光を入れますと、IC の保護機能が働き、映像を写さず、画面が真っ黒になることがあります。
- ③言語を切り替えた際に同じ症状が起きることがありますので、言語を切り替える際にはカメラに光が入らないようにしてください。

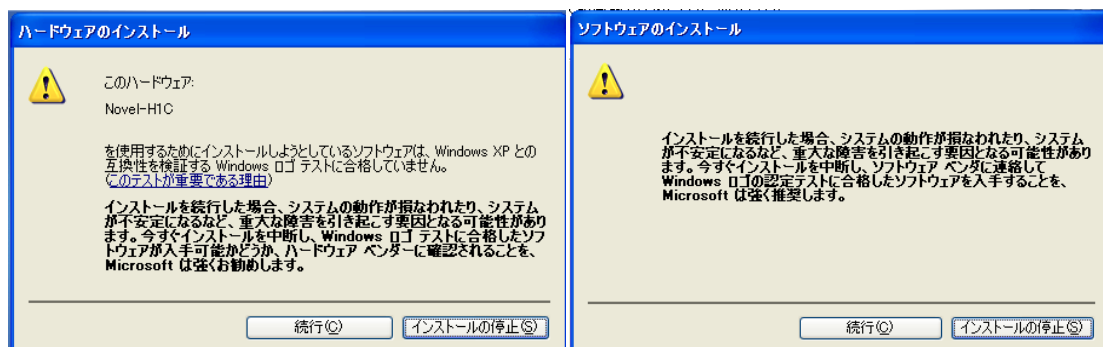
6-6. Cannot preview successfully. Please check your camera と

エラーメッセージが出る

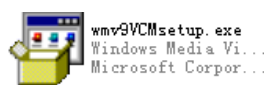
- ①カメラが PC に接続されていない場合は、PC に繋げてください。その後、ソフトウェアを立ち上げてください。
- ②使用者が USB ポートを変えてしまい、ドライバが再インストールされていない場合は、ドライバを再インストールするかアップデートしてください。

6-7. インストール中に注意表示が出る

- 1.ドライバインストールを実行する前に PC にカメラを繋いでください。
下記のような警告ダイアログが出てきましたら、「続行」をクリックしてください。



6-8. ビデオを記録できない、または誤って記録してしまう



PC に「Video Codec」がインストールされているかご確認ください。

6-9. カメラが認識されない

USB2.0 は任意ではなく必須です。このカメラは USB1.1 ポート接続では作動することができません。
また、コードが断線していないか、コードがしっかり接続されているかをご確認ください。



6-10. その他注意点

使用後はすぐに USB ケーブルをパソコンから抜いてください。パソコンにカメラを繋いだままにしていたり、長い時間 PC をシャットダウンしないままですと、カメラ寿命が短くなったり、故障の原因になる恐れがあります。

上記の方法で解決しない、上記以外の問題が起こった場合は、お手数ですがカスタマー相談センターまでお問い合わせください。お問い合わせ時は、使用している PC の OS と、問題の現象について具体的にお伝え願います。

商品についてのお問い合わせは

カスタマー相談センター

TEL 0120-700-875

FAX 0120-700-763

問合せ専用 URL <https://help.as-1.co.jp/q>

修理・校正についてのお問い合わせは

修理窓口

TEL 0120-788-535

FAX 0120-788-763

問合せ専用 E-mail repair@so.as-1.co.jp

 **アズワン株式会社**

受付時間：午前 9 時～午後 5 時 30 分まで

土・日・祝日及び弊社休業日はご利用いただけません

第 5 版 2019 年 9 月 作成